



初めて銭太鼓にチャレンジ（8日・石巻バイパス西集会所で）

第3次チーム、15か所を巡回公演

豊齢学園（仙台）と連携し活動

7月7日から東北を訪れていた第3次支援チーム（18人）は、7日間の日程を終え13日、元気に帰ってきました。訪問先は女川町の仮設住宅4か所、女川と仙台の小学校5校、保育所3か所、児童館3か所です。うち3か所では振興協会のチームと共演しました。

昔遊び・マジック・大道芸のほか銭太鼓や歌のメンバーが新しく参加。協会チームにはプロの女性歌手もいて、にぎやかな公演となり、被災者や子供たちには大変喜んでもらえました。最終日には石巻市長を表敬訪問。仙台のシルバー大学「豊齢学院」との懇談では「連携して被災者支援に取り組もう」と、具体策を検討することになりました。

公演は8日の女川町清水仮設からスタート。草津節と体操でオープニング。南京玉すだれ、昔遊び（お手玉・あやとり・折り紙コマ）と続き、オカリナの伴奏で「花火」「上を向いて歩こう」「七夕さま」を皆で歌いました。

軽妙な1人芝居「白波五人男」で会場をわかせたあと、銭太鼓チームが登場。皆さんにソーラン節を体験してもらいました。マジックで驚かせ、最後は民謡タ

イム。デカンショ節・斉太郎節と続き、全員で炭坑節を歌って踊って大いに盛り上がりしました。庭ではペタンクの親善試合があり、〈わ〉の2人も参加しました。

9日は女川第二小（午前）と東浜小（午後）。プログラムは民謡タイムを省いた子供用です。嵐の曲に乗って、新聞をちぎって踊る“新聞ダンス”に子供たちは大喜び。南京玉すだれも大好きようです。昔遊びタイムではチーム全員が子供たちの輪に入って遊びます。人気はブンブンゴマ回し。「回った、回った」と声が弾みます。銭太鼓には10人がチャレンジ。初めての子もすぐに覚えます。華やかなマジックのあとは、ボール・あめ玉・色紙などが入ったお土産をプレゼント。子供たちはニコニコ顔です。

11日、12日の3公演は協会チームとの共演です。ピエロ風の衣装でドレミちゃん登場。風船アートを始めると、子供たちは大歓声。ツカ出身の花城アリアさんは透き通るような声で「ドレミの歌」「アイアイアイ」などを披露。会場を魅了しました。

プログラムは仮設住宅用、小学校・児童館用、協会との合同公演用の3種を準備。被災者やこどもたちに寄り添って遊べる内容にしました。（裏面にづく）



合同公演で人気者だったドレミちゃん[㊟]と歌手花城アリア

銭太鼓グループが初参加

●銭太鼓は初参加 銭太鼓グループは今回が初参加。演技を見せるより被災者や子供たちに体験してもらって一緒に楽しもう、と子供用の銭太鼓10組を持参するなど大張り切り。初めて触る子供たちもいましたが、「わあ、面白い。中に何が入っているの」とたちまち人気メニューに。あるメンバーは「行ってよかった。こんなに喜んでもらえるとは」と感激しきりでした。一方、出発直前に昔遊びのリーダー一人が降板。でも、昔遊びは1回目からプログラムの中心になっており、慣れたメンバーも多く支障はなかったようです。

●仮設にグリーンカーテン 遮熱性にすぐれ真夏の日よけに最適というポリエステル製のガーデンカーテン100組が、福祉振興協会を通じて〈㊞〉に託され、8日に清水・新田の仮設住宅住民にプレゼントされました。石川県の合繊メーカー山越が製造、神戸の販売会社から振興協会に打診があったものです。「ありがとう。いいお中元をいただきました」と仮設の皆さんはうれしそうでした。

期間中、西日本は大雨、近畿も雨模様ばかりでしたが、現地は天候に恵まれ雨は1日だけ。気分よく公演をつづけることができました。

(広報・南形徹)

【3次チームメンバー】

西田圭一(団長・生9) 芦田義和(リーダー・生15)
海野龍英(幹事・食16) 内田たみ子(福10) 増金スミ子(福11) 水嶋和信(生12・写真) 波多野武郎(食16) 古後健一(健18) 三浦捷治(国10) 三浦良子(国9) 阿部和子(福11) 林弥生(国13) 山田保子(音13) 大橋洋子(音16) 筒井ちなみ(音17) 安田夫市(健17) 大和川明美(18) ▽留守部隊＝大澤貞男(生13) 南形徹(生14)

▽特別参加＝浦崎佳世子(竹の台小)

【福祉振興協会チーム】

花城アリア(歌手) ドレミちゃん(香川彩子) 梅田ちえみ(体操) 田中浩子、福田孝夫・佃孝司(協会)

